2

3．どんなことをしてきたか5－1

東日本大震災を契機に災害対策、防災対策、そして支援

[illegible]東日本大震災[illegible]その後、我々に何ができるのかを[illegible]博物館、美術館、図書館の[illegible]デジタルアーカイブ、あるいはドキュメンテーションの重要性を思い知らされる。

番外編（2011年度その1）　2011年4月8日（金）　参加者32名
- 「緊急討論！　デジタルアーカイブの震災対策・今後の対応
  東北関東大震災、各地の被災状況と今後の対策」
  話題提供　山村真紀氏（ミュージアム・サービス研究所）
  福田博同氏（跡見学園女子大学）／林太一氏（[illegible]）
  木村和文（ラティオインターナショナル）

番外編（2011年度その2）　2011年5月17日（金）　参加者13名
番外編継続！　被災地の現状と私たちができること
- saveMLAKを中心にして（[illegible]氏／[illegible]大学
  福田博同氏／跡見学園女子大学）
- 公民館の動き[illegible]（[illegible]氏／国立教育政策研究所）
- 福島県新地町の情報（木村和文／ラティオインターナショナル）

3．どんなことをしてきたか5－2

東日本大震災を契機に災害対策、防災対策、そして支援

第19回　2011年11月11日（金）　参加者15名
文化財レスキューの今後　その成果、展開と課題
- 文化財レスキューの今後　その成果、展開と課題
  （栗原祐司氏／文化庁文化財部美術学芸課）
- タイの洪水に関する救済支援のその後など
  （山口学氏／国立国会図書館）

番外編（2011年度その4）　2011年11月18日（金）・19日（日）
陸前高田市、新地町、福島市視察見学　　参加者7名
- 11月18日（金）
  岩手県陸前高田市：海と貝のミュージアム跡地／市立博物館跡地／
  市立図書館跡地／教育委員会／[illegible]
- 11月19日（土）
  福島県新地町：新地町図書館／新地町役場／[illegible]／
  福島県福島市：福島県歴史資料館

3．どんなことをしてきたか5－3

東日本大震災を契機に災害対策、防災対策、そして支援

第20回　2011年12月16日（金）　参加者11名
陸前高田市、新地町、福島市視察見学報告
- 11月18日(金)、19日（土）の視察写真を見ながら参加者からの報告をもとに議論

第21回　2012年1月13日（金）　参加者12名
タイ洪水は図書館、博物館、美術館にどのように影響を与えているか？　―私たちがなすべきことは何か、何ができるのか―
- タイの状況と現在の課題（山口学氏／国立国会図書館）
- 第3次補正予算および平成24年度予算案に関して
  （木村和文／ラティオインターナショナル）

第23回　2012年3月16日（金）　参加者10名
3.11から1年、あれから何が変わったか
- 参加者から東日本大震災から1年後、どのように過ごしていたかを話してもらいながら議論

3．どんなことをしてきたか5－4

東日本大震災を契機に災害対策、防災対策、そして支援

第24回　2012年4月13日（金）　参加者9名
3.11から1年、あれから何が変わったか
- タイの状況と現在の課題（山口学氏／国立国会図書館）
- 第3次補正予算および平成24年度予算案に関して
  （木村和文／ラティオインターナショナル）

第25回　2012年5月18日（金）　参加者13名
データベースを崩壊の危機から救え！通信総合博物館のデータベース移行から
- 通信総合博物館におけるデータベース移行の事例を紹介
  （[illegible]氏／通信総合博物館）

第39回　2013年10月18日（金）　参加者12名
公共施設の建築図面を何とかしよう！　震災にも耐える建築図面のデジタル化 PDF化からまず始めては?
- 東日本大震災で流されてしまった建築図面をめぐって、その現状と急がれるデジタル化に対する課題や今後の可能性など

3．どんなことをしてきたか5－5

東日本大震災を契機に災害対策、防災対策、そして支援

2012年5月

3．どんなことをしてきたか5－6

東日本大震災を契機に災害対策、防災対策、そして支援

2011年11月18日

6．特に注目したいのはどこか

◎2009年から2012年までは文化遺産オンラインに注目
　―日本版ヨーロピアナ／JAPANサーチ（仮）
◎データ標準化や画像検索DBの特性は人気がある
◎東日本大震災を契機に災害対策、防災対策
◎2013年以降、話題になることの多いLOD・オープンデータの活用はこれからもっと注目
◎図書館、文書館の情報化とデジタルアーカイブ化はこれからの課題、課題の整理が必要
◎各種デジタルアーカイブの活性（アニメーション、ゲーム、スポーツ写真など）

7．今後どのように展開していくのか

◎会員、非会員を問わず気軽に集える空間と場の提供
- JADSの会員を増やすことに寄与する
- 新たなテーマをここから生み出し、各人が持ち帰り展開させる

◎全国の博物館、美術館、図書館の情報化とデジタルアーカイブの作成と連携をサポート
- LODの普及とサポート
- LODもしくはPDFによるデジタル化事業の中の情報交換
- JAPANサーチとの連携、協働

◎東日本大震災・熊本地震等災害以後の変化を追い続けて、記録、報告し続ける
◎図書館、文書館の情報化とデジタルアーカイブ化に関して課題を整理する。今後、学校図書館、公共図書館の融合も視野に入れ、法の改正と整備、コンセプトの整合の検討を行っていく